

河内地区・東下ヶ橋自治会

「伝統受け継ぐ集落の絆」

●加入世帯 63世帯 ●加入率 100%

活動内容

1. 体育祭での5年連続優勝をはじめ輝かしい実績

健康づくりと地域のふれ合い・結束づくりに努め、特に平成23年度にも優勝している《河内地区体育祭》では、伝統的に集落を挙げて一致団結して優れた成績を残しており、市町合併前の町民体育祭の時代には昭和61年から平成2年まで5年連続優勝という偉業を成し遂げ特別表彰を受けている。



2. 集落ぐるみの環境保全向上活動

隣接する白沢河原自治会と共に、平成18年からSK農村環境保全会を結成、国の《農地・水・環境保全事業》を導入して、全市で行う一斉清掃の他に、農家と非農家が一体となって自治会ぐるみで公園や共同水路・道路の草刈りを年4回行っている。又、子供と一緒に水田や水路の《生き物調査》を行って自然を学ぶ他、《魚の放流》や環境保全PR看板の設置等も行っている。平成23年2月には、下ヶ橋地区として県から《とちぎのふるさと田園風景百選》に認定された。



3. どんど焼きの復活等による集落ぐるみの子供育成活動

集落の子供育成の取り組みとしては、2. にあげた《生き物調査》の他にも、従来からのPTAの活動支援に加えて、数年前から、しばらく途絶えていた伝統行事の《どんど焼き》を子供と大人の交流行事として復活させた。



4. 伝統文化施設等の保存活用

集落内には市の指定文化財が、三ツ股力ヤと天棚の2つあり、特に1862年に製作された《天棚》は、市内に数十基ある天棚の中でも最も大規模で重厚な白木彫刻の優れた建造物である。平成19

年に組み立てたまま格納できる施設を建て良好に保存活用できるようにしたため、地区内外の文化団体が度々視察に訪れる等、集落の誇れるシンボルとして活用している。



5. 近年力を入れている活動

高齢化の進展に伴って福祉協力員や民生委員の役割が増している。介護予防教室(にこにこクラブ)は毎週第2土曜日、地域包括支援センターの指導のもと安定して10名前後が出席して実施されている。会食とレクレーション等を中心とした敬老会は毎年20名前後の参加を得て盛会である。



6. 管内初の集落営農組合による基幹産業維持

農業が基幹産業であった当集落は農業に関する役割を各役員が分担して担当している。なお当集落はJAうつのみや管内で初めて《集落営農組合》を組織化し、時代環境の変化に対応した地域農業の維持・発展のため、農地利用と作業受託の受け皿となっていることが特筆できる。



7. その他

リサイクル委員が担当するゴミ資源化と減量化、消防団と婦人防火クラブによる防災訓練や防火運動、PTAや各安全協会役員等が担当する防犯や交通安全活動の他、当番や班長が担当する季節ごとの伝統的祭り等により、活発な自治会活動がなされている。

高い加入率を維持する秘訣

稲作農業の集落の時代から受け継がれてきた地域の強い連携の優れた点を、地域の構成や時代の変化に合った形で自治会づくりに丁寧に活かしていくこと。